

ヘモグロビンA1cの測定値と表記方法の取り扱いについて

平成24年2月7日

一般社団法人 日本総合健診医学会

理事長 日野原 重明

担当理事 福武 勝幸

この度、日本総合健診医学会は日本国内における今後のヘモグロビンA1cの測定値と表記方法について、日本糖尿病学会より添付の文書（資料1、2）の通りの協力要請を受けました。これはヘモグロビンA1cの検査法を国際的に標準化し、これまで日本で使われてきたJDS値をNGSP値に切り替えることにより、国際的に共通の値で評価出来るようにするために行われるものです。去る1月20日には、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会、日本糖尿病対策推進会議の3団体により共同の記者会見も開催され、本件の関係者への周知が図られています。

日本総合健診医学会は、この要請の重要性に鑑み、日本糖尿病学会が提示している運用指針に準拠し、当学会の関連事項について下記のように詳細な対応指針を策定しましたので会員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

1) 総合健診等の各種健診成績書(特定健診・特定保健指導を含む)に記載する項目名と報告値

① **平成25年3月31日まではJDS値（現行値）**を用いる。

総合健診等の各種健診成績については、特定健診への代替え利用の可能性が高いこと、特定健診における検査値継続の重要性に配慮して、厚生労働省を含む国内関係団体の取り決めに従って、平成25年3月31日まではJDS値（現行値）を用いる。

項目名表示は「ヘモグロビンA1c」または「HbA1c」（従来と同様）と記述する。

（NGSP値の併記は各施設の判断によるものとするが、受診者に混乱のないように十分に配慮し、併記の場合の項目名表示は日本糖尿病学会の運用指針に従い、JDS値は「HbA1c(JDS)」または「HbA1c」、NGSP値はHbA1c(NGSP)または「A1C」（アルファベットは大文字）とする。）

なお、今後は診断薬がNGSP準拠となり、測定値がNGSP値となることも予想されるため、各施設においては使用する診断薬が準拠している方法に十分留意し、測定結果がNGSP値を示す場合は後述の変換方法に従いJDS値に変換する。

平成25年3月31日まで、総合健診等の健診成績に示す値はJDS値であり、健診成績を診療に利用する場合は、診断基準などは従来通りJDS値に基づくものを用いなければならないことを脚注などで受診者に伝える。また、診療機関は平成24年4月1日からNGSP値に変更するため、「平成25年3月31日までの健診の成績は診療機関の成績と比べて約

0.4%低い値を示すこと」、「特定健診との協調のために表示法が一時的に二通りになる必要があること」を共に受診者に伝える。

② **平成 25 年 4 月 1 日以降（予定）は NGSP 値のみ**を用いる。JDS 値は用いない。

総合健診等の各種健診成績については、厚生労働省を含む国内関係団体の取り決めに従い、上記期日より NGSP 値に統一される予定である*1。この結果、上記期日以降は値が約 0.4% 高くなり、診療機関と同じ表示であることを脚注などで受診者に伝える。また、過去の成績を時系列で表示する場合は、原則としてすべての成績を NGSP 値へ変換する。過去成績の変換が困難な場合は、その説明を脚注などに記載し受診者に伝える。

項目名表示は「ヘモグロビン A1c」または「HbA1c」（従来と同様）と記述する。

（JDS 値の併記は各施設の判断によるものとするが、併記の場合の項目名表示は日本糖尿病学会の運用指針に従い、JDS 値は「HbA1c(JDS)」または「HbA1c」、NGSP 値は HbA1c (NGSP) または「A1C」（アルファベットは大文字）とする。）

協議中であり、現時点では決定していません*1。

2) 学会発表、論文発表*2 : **NGSP 値**

平成 24 年 4 月 1 日以降の当学会誌掲載論文及び学会発表における表記・記述は、NGSP 値を用いることとし、NGSP 値であること明記した上で表記はヘモグロビン A1c (HbA1c) を用いる。本告知以降の投稿論文は NGSP 値表記で執筆する。

NGSP 値表記の HbA1c あるいは JDS 値表記の HbA1c について言及する必要があるときは、各々「HbA1c(NGSP)」、「HbA1c (JDS)」と記述する。

3) 精度管理事業 : **NGSP 値**

平成 24 年度以降の精度管理事業における測定値は NGSP 値とし、表記は「ヘモグロビン A1c」または「HbA1c」を用いる。

4) 学会の実施する試験 : **NGSP 値**

平成 24 年 4 月 1 日以降、ヘモグロビン A1c の表記は特に必要の無い限り NGSP 値に統一する。文章内の記述は「ヘモグロビン A1c」または「HbA1c」とする。文章内で表示法を個々に区別して記述する必要があるときは、各々「HbA1c(JDS)」、「HbA1c (NGSP)」、「HbA1c (国際標準値)」とする。

5) 学会の実施する講義、講演等 : **NGSP 値**

平成 24 年 4 月 1 日以降、特に必要の無い限りヘモグロビン A1c の表記は原則として NGSP 値に統一する。講義・講演や文章内の記述は「ヘモグロビン A1c」または「HbA1c」とする。表示法を個々に区別して使う必要があるときは、各々「HbA1c(JDS)」、「HbA1c (NGSP)」、「HbA1c (国際標準値)」とする。

6) 健診受診者への周知 : **JDS 値 (～平成 25 年 3 月 31 日)** **NGSP 値 (平成 25 年 4 月 1 日～)**

平成 25 年 3 月 31 日まで、総合健診等の健診成績に示す値は JDS 値であり、健診成績をそのまま診療に利用する場合は、診断基準などは従来通り JDS 値に基づくものを用いなければならないことを成績通知書の脚注やパンフレットなどで受診者に伝える。また、診療機関は平成 24 年 4 月 1 日から NGSP 値に変更されるため、「平成 25 年 3 月 31 日までの健診の成績は診療機関の成績と比べて約 0.4%低い値を示すこと」、「特定健診と協調するために表示法が一時的に二通りになる必要があること」を共に伝える。また、「平成 25 年 4 月 1 日からは診療施設と同じ NGSP 値に統一されること」を伝える。

7) 保険者への周知 : **JDS 値 (～平成 25 年 3 月 31 日)** **NGSP 値 (平成 25 年 4 月 1 日～)**

平成 25 年 3 月 31 日まで、総合健診等の健診成績に示す値は JDS 値であり、健診成績をそのまま診療に利用する場合は、診断基準などは従来通り JDS 値に基づくものを用いなければならないことを成績通知書の脚注やパンフレットなどで保険者に伝える。また、診療機関は平成 24 年 4 月 1 日から NGSP 値に変更されるため、「平成 25 年 3 月 31 日までの健診の成績は診療機関の成績と比べて約 0.4%低い値を示すこと」、「特定健診と協調するために表示法が一時的に二通りになる必要があること」を共に伝える。また、「平成 25 年 4 月 1 日からは診療施設と同じ NGSP 値に統一されること」を伝える。

8) 医院・病院・産業医等への周知

総合健診等の健診成績については、特定健診への代替え利用の可能性が高いこと、特定健診における検査値継続の重要性に配慮して、厚生労働省を含む国内関係団体の取り決めに従って、平成 25 年 3 月 31 日までは JDS 値を用いるため、健診の成績を基に診断や治療効果を判断する際に誤解のないよう注意が必要であることの周知を促し、健診成績の表示法への理解を求めらる。

9) 検査機関（登録衛生検査所）への依頼 : **JDS 値・NGSP 値 併記**

検査機関は平成 24 年 4 月 1 日からヘモグロビン A1c 検査値の主表示を NGSP 値に変更すると思われるが、総合健診施設等の健診施設に対して、日本糖尿病学会の運用指針に従い、JDS 値は「HbA1c(JDS)」または「HbA1c」、NGSP 値は HbA1c (NGSP) または「A1C」(アルファベットは大文字)として、両方併記で報告するよう求める。

10) ヘモグロビン A1c 検査法と測定値の取り扱い

現行の多くの診断薬は JDS 準拠であり、測定値は JDS 値で示されているが、今後は診断薬が NGSP 準拠となり、測定値が NGSP 値となることも予想されるため、各施設においては使用する診断薬が準拠している方法に十分留意し、測定結果が NGSP 値を示す場合は後述の変換方法 (10-①) に従い、平成 25 年 3 月 31 日までは JDS 値に変換し報告する。

① NGSP 準拠の診断薬・測定法を用いる場合

測定結果は NGSP 値で示されるので、健診結果として用いる場合は JDS 値へ変換して報告する。そのほかの利用は、測定値のまま NGSP 値として使用できる。

NGSP 値から JDS 値への変換方法（以下の換算式、または換算手段によるものとする）

換算式

$$\text{JDS 値 (\%)} = 0.980 \times \text{NGSP 値 (\%)} - 0.245\%$$

換算式によらない換算手段

NGSP 値で 5.2%以下:	JDS 値(\%)=NGSP 値(\%)−0.3%
-----------------	---------------------------

NGSP 値で 5.3~10.2%:	JDS 値(\%)=NGSP 値(\%)−0.4%
--------------------	---------------------------

NGSP 値で 10.3~15.2%:	JDS 値(\%)=NGSP 値(\%)−0.5%
---------------------	---------------------------

② JDS 準拠の診断薬・測定法を用いる場合

測定値は JDS 値であるので、健診結果として用いる場合は JDS 値をそのまま報告する。そのほかの利用は、測定値を変換して NGSP 値として使用する。

JDS 値から NGSP 値への変換方法（以下の換算式、または換算手段によるものとする）

換算式

$$\text{NGSP 値 (\%)} = 1.02 \times \text{JDS 値 (\%)} + 0.25\%$$

換算式によらない換算手段

JDS 値で 4.9%以下:	NGSP 値(\%)=JDS 値(\%)+0.3%
----------------	---------------------------

JDS 値で 5.0~9.9%:	NGSP 値(\%)=JDS 値(\%)+0.4%
------------------	---------------------------

JDS 値で 10.0~14.9%:	NGSP 値(\%)=JDS 値(\%)+0.5%
--------------------	---------------------------

参考資料

「日常臨床及び特定健診・保健指導における HbA1c 国際標準化の基本方針及び HbA1c 表記の運用指針」. 平成 24 年 1 月 5 日、平成 24 年 1 月 23 日修正、日本糖尿病学会 糖尿病関連検査の標準化に関する検討委員会

*1：平成 24 年 2 月 8 日加筆

*2：平成 24 年 2 月 9 日改訂

以上